

見つけて！



農産物の環境負荷低減の「見える化」

農林水産省では、消費者に環境への負荷の低減が図られた農産物を選択してもらえるよう、「温室効果ガスの削減への貢献度合い」と「生物多様性保全への配慮」を星の数でラベル表示する「見える化」を進めています。



「みえるらべる」を貼ったミニトマト



「見える化」ってどんなこと？

以下の2つの取組を、取組の度合いに応じて算定シートで評価し、星の数で表示するものです。

- ・温室効果ガス（GHG）の削減
- ・生物多様性の保全

GHGの削減度合い：

化学肥料・化学農薬・化石燃料の低減、バイオ炭の施用、水田の水管理等が対象

生物多様性の保全(米のみ)：

江の設置(水田内に溝を作ること)、冬期湛水、魚道の設置などが対象

対象品目は24品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、なす(露地・施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、ミニトマト(施設)、いちご(施設)、ピーマン(露地・施設)、リンゴ、温州みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、ばれいしょ、かんしょ、茶

※括弧書きがないものは全て露地のみ

ラベルの愛称は

みえるらべる

です！店頭で見かけた際は、ぜひ選んでいただくと幸いです！



販売の事例

「見える化」の詳細についてはこちら↓



https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/mieruka/mieruka_tohoku.html



ラベル愛称は「みえるらべる」です。今後店頭で「みえるらべる」が貼られた商品が増えていきます。

